

# 研究所だより

第330号  
2013年5月8日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3016

## <教育研究所：研究協力校・研究グループ>

この1年間、清水の教育の発展・向上のために研究協力校を委嘱し、校内研究のテーマとは別のテーマ設定で研究をしていただきます。研究の取り組み概要、成果・課題につきましては研究集録「清水の教育」に掲載します。

### 【中浜小学校】－研究主任：宮地 和子

- 1, 研究テーマ  
構成的グループエンカウンターを活用した仲間作り
- 2, 研究の概要
  - ①講師による構成的グループエンカウンターの授業をもとに理論と技術を学ぶ。
  - ②各学級担任による構成的グループエンカウンターの授業を検討し、児童の仲間作りを進める。
  - ③Q-Uの結果を分析し、手立てを考える。
  - ④Q-Uと構成的グループエンカウンターの授業の関係を考察しながら経年変化を調べる。
- 3, その他  
講師（清水小学校教諭 田中聡子先生）を招聘し、共同研究をしていく。

### 【三崎小学校】－研究主任：奥谷 木の实

- 1, 研究テーマ  
自ら考え行動する防災教育の推進
- 2, 研究の概要  
児童が主体的に考え・行動し、自分の命は自分で守ることができる力をつける。
- 3, 研究の進め方
  - ①児童の意識・実態調査を行い、課題を明らかにすることで、防災意識の向上を図る。
  - ②児童が主体的に考え・行動できるよう、様々な場面を想定した避難訓練を行う。
  - ③校区・地域の自然環境や防災体制についての知識・理解を深める学習を積み上げる。
  - ④自分たちにできることは何かを考え、様々な訓練を行う。
  - ⑤学校防災マニュアル等の見直しを行う。
  - ⑥各学年の学習内容の中で『地震・津波・防災・減災』に関連する授業研究を行う。
  - ⑦防災学習発表会や講演会を行い、集約する

### 【清水小学校】－研究主任：北代あかね

- 1, 研究テーマ  
筋道を立てて考え、表現できる児童の育成  
～言語活動を重視した算数科の授業づくりを通して～

- 2, 研究の概要
  - ①思考力・判断力・表現力育成のため、授業改善を図る。（ねらいの明確化・算数的活動の工夫／少人数指導における指導方法の工夫と改善）
  - ②年間指導計画を加筆修正し、言語活動を充実させる。
  - ③学習習慣の形成を図る。（家庭との連携）

## <土佐清水市特別支援教育研究会> 会長 下ノ加江小学校 吉本 拓也

- 1, 研究テーマ  
交流学习を通して、障害のある児童・生徒が互いに連携と親睦を図ることで社会性を身に付けさせ、自立への意欲を育てる。
- 2, 研究の概要
  - ・ 6月14日 合同学習会（買い物学習）並びに親子交換会
  - ・ 10月29日 合同学習会（ゲーム交流とバーベキュー）
  - ・ 1月25日 合同学習会（ゲーム交流とカレー作り）
  - ・ 2月14日 文集「つばき」製本

## <土佐清水市社会科教育研究サークル> 代表 田村 公利

- 1, 研究テーマ  
身近な地域の地歴教材開発  
～土佐清水市域及び近隣市町村も視野に入れて～
- 2, 研究の概要  
昨年度は、小学校高学年から中学生用の社会の地域教材として「上田亀之助の土佐清水・市街地造成」と「窪津沖の鯨漁」という2つを収録した「社会科学習地域教材集－土佐清水市域第1集」を発行し、土佐清水市内小中学校に配布した。  
本年度は、昨年の研究を継続させると共に、更に発展させ、土佐清水市域にとどまらず、近隣の市町村まで範囲を広げて地域教材を開発していく計画である。  
具体的には、土佐清水市域では、
  - ①大正期の益野水力発電所の操業
  - ②近世・紀州国印南浦旅漁海民が松尾や中浜で行ったカツオ漁と節加工の歴史
  - ③飢餓と戦った三崎浦庄屋・沖市左衛門
  - ④中世・以南豪族加久見氏等の地域教材課題の中から2つ以上開発することを目標としたい。  
また、土佐清水市近隣市町村にも範囲を広げて、1つ以上の教材開発を目標に進めたい。大月町、宿毛市、四万十市、黒潮町等から適当な教材を市町村史をヒントに絞っていく計画である。

## <平和教育に関する図書及び教材資料>

今春、窪津小学校を最後に退職されました 前田 晃 先生より、平和教育に関する図書や教材資料をたくさん寄贈していただきました。ありがとうございます。  
各学校では、日々、平和教育に取り組んでいることと思いますが、先生方の参考本、資料に活用していただけると幸いです。ご気軽にご利用ください。